

ファスマックの

微生物同定検査

培養法で結果が
ハッキリしなかった。。

属、種レベルまで
正確に判定したい！！

自主検査結果と比較
したい！！

特徴 1. シーケンス解析による高い識別能、再現性

特徴 2. 高精度データベースによる高い信頼性※1

特徴 3. 細菌、真菌 (カビ、酵母)・・・どちらにも対応

細菌 (500bp)、真菌検査 (カビ、酵母)

12,000 円 (税別)、納期：4～7 営業日

細菌全長検査 (1,600bp)

25,000 円 (税別)、納期：4～7 営業日

※Applied Biosystemsの「MicroSeqIDシステム」またはType Strain (標準菌株)のみを収載したNCBIデータベースをお選びいただけます。

FASMAC

株式会社ファスマック 事業開発部

☎ : 046-280-5952 ✉ : mis@fasmac.co.jp

〒243-0021 神奈川県厚木市岡田3088 ケーオービルA棟2階

ファスマックの微生物同定検査

微生物検査は食品・製薬業界等では重要な検査項目です。また、不良品が発生した場合の微生物同定検査では不良原因菌、衛生問題を起こした場合は病原菌の菌種を特定することで、汚染源の調査や危害に対して手段を講じることが出来ます。細菌や真菌の分類・同定は、従来は顕微鏡下による形態観察や分離培養による方法などが行われていますが、培養法での同定は経験によるところが大きいといわれています。ファスマックでは遺伝子解析技術を利用して微生物種同定を実施しており、高い識別能や再現性が期待できる解析結果を得られるという利点があります。御社の品質管理に是非お役立て下さい。

検査項目

細菌 (500bp)

検査対象は細菌になります。16SrDNA の 5' 末端側の約 500bp の塩基配列を決めます。

細菌全長 (約1,600bp)

検査対象は細菌になります。16S rDNA の全長 約 1,600 bp の塩基配列を決めることで、細菌 500bp では菌種の特정이難しい場合でも、より詳細な情報が得られます。

真菌

検査対象は真菌になります。真菌の rDNA D2 領域 約 300 bp の塩基配列を決めます。

検査手順

検体送付※1

シャーレの裏側から試験を行うコロニーをマジック等でマークして下さい。弊社は試料の単離サービスは行っておりません。純粋培養された菌株の生きたシャーレをお送り下さい。

DNA抽出

PCR※2

検体コロニーからDNAを抽出し、PCRを行います。増幅バンドを確認後、シーケンス作業へ進みます。

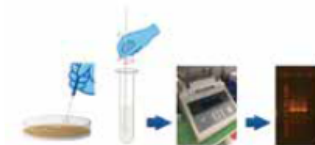
シーケンス

シーケンサーを用いて、塩基配列を決定します。明確な波形が得られない場合は検査不能と致します。その場合でも検査料金は全額請求となりますので、予めご了承ください。

データベースとの照合

シーケンスデータと MicroSeq ID システムデータベースを照合し、相溶性の高い上位 10 種を結果としてご報告致します。

納品



Library Entry Name	%Match
Staphylococcus saprophyticus saprophyticus (ATCC=15305)	99.66
Staphylococcus saprophyticus bovis (JCM=4410)	99.50
Staphylococcus xylosum (ATCC=29971)	99.43
Staphylococcus arlettae (ATCC=43957)	99.38
Staphylococcus cohnii urealyticum (ATCC=49330)	99.31
Staphylococcus haemolyticus (ATCC=29970)	99.20
Staphylococcus cohnii cohnii (ATCC=29974)	99.16
Staphylococcus gallinarum (ATCC=35539)	99.05
Staphylococcus equorum equorum (ATCC=43958)	99.04
Staphylococcus hominis hominis (ATCC=27844)	99.04

FASMAC

FOOD ASSESSMENT & MANAGEMENT CENTER

株式会社ファスマック 事業開発部

☎ : 046-280-5952 ✉ : mis@fasmac.co.jp

〒243-0021 神奈川県厚木市岡田3088 ケーオービルA棟2階



←ご依頼
お問合せ



←資料は
コチラ